

Mémoires 2019

天皇賞(春)

第159回天皇賞(春)「GI」優勝馬フィエールマン



時代の節目を飾る大一番



「令和」への改元を3日後に控えた4月28日、「平成最後のGI」として第159回天皇賞(春)が芝の緑も眩しい京都競馬場を舞台に行われた。

3000冠を超える芝のGIとして、いずれも京都競馬場で争われる菊花賞と天皇賞(春)。近年では、キタサンブラック、ゴールドシップが両レースを制している。

この年は前年の菊花賞の出走馬が5頭出走し、そこで1~3着を占めたフィエールマン、エタリオウ、ユーキャンスマイルがここでも上位人気に推されてスタートを迎えた。

ヴォージュが果敢に先行すると、ロードヴァンドールがそれに続き、メイショウテツコンが3番手。フィエールマンは中団の後ろを進み、ユーキャンスマイルとエタリオウは馬群の後方を追走した。1周目のスタンド前でいったん隊列が落ちついたが、動きが出たのは向正面。少しずつポジションを上げたフィエールマンが抑え切れない手応えで2度目の坂を越えると、前年の菊花賞で5着に入っているグローリーヴェイズがその直後から連れて進出。この2頭が馬体を併せるかたちで先頭集団に並びかけ、馬群は直線へ向いた。

ここからは4歳馬2頭による壮絶な追い比べとなる。内から抜け出そうとするフィエールマン、外で懸命に食い下がるグローリーヴェイズ。3番手以下を置き去りにして繰り広げられた200m以上にわたる激闘の末、フィエールマンがクビ差競り勝って栄光のゴールを駆け抜けた。この2頭から6馬身差の3着が7歳馬のパフォーマプロミス、後方から追い込んだエタリオウとユーキャンスマイルはそれぞれ4、5着に敗れた。

ハナ差で勝利をものにした菊花賞に続き、僅差での戦いを制した愛馬フィエールマンを出迎えた手塚貴久調教師は、「最後の競り合いで、この馬の負けん気の強さが生きました。しびれましたね」と興奮気味に語った。

菊花賞(4戦目)に続き、ここでも天皇賞(春)の最少キャリアでの勝利記録(6戦目)を更新したフィエールマン。その記録に残る鮮烈な疾駆によって、平成最後のGIは締めくくられた。



▲ 中国から徐々に位置を上げたフィエールマン(帽色・橙)が4コーナーで先頭へ。

第159回天皇賞(春) [GI]

4/28 京都競馬場 3200m(芝・右・外) 晴・良 13頭

着順	馬名	性齢	斤量	騎手	調教師	タイム/着差	人気	通過順位
1	フィエールマン	牡4	58	C.ルメール	手塚 貴久	3:15.0	①	7 5 4 1
2	グローリーヴェイズ	牡4	58	戸崎 圭太	尾関 知人	クビ	⑥	9 8 7 2
3	パフォーマプロミス	牡7	58	北村 友一	藤原 英昭	6	⑧	6 5 4 5
4	エタリオウ	牡4	58	M.デムーロ	友道 康夫	クビ	②	13 13 9 5
5	ユーキャンスマイル	牡4	58	岩田 康誠	友道 康夫	3	③	11 11 11 7
6	チェスナットコート	牡5	58	坂井 瑠星	矢作 芳人	1 1/2	⑩	5 5 7 7
7	カフジプリンス	牡6	58	中谷 雄太	矢作 芳人	3	⑨	4 4 2 2
8	リッジマン	牡6	58	蛸名 正義	庄野 靖志	3/4	⑪	10 10 9 7
9	ケントオー	牡7	58	幸 英明	西橋 豊治	1 1/4	⑬	12 12 12 12
10	クリンチャー	牡5	58	三浦 皇成	宮本 博	3/4	④	8 8 11 11
11	メイショウテツコン	牡4	58	福永 祐一	高橋 義忠	7	⑤	3 3 1 2
12	ロードヴァンドール	牡6	58	横山 典弘	昆 貴	大差	⑦	2 2 4 7
-	ヴォージュ	牡6	58	和田 竜二	西村 真幸	競走中止	⑫	1 1 2 13

単勝 ⑩280円 複勝 ⑩150円 ⑦320円 ⑧630円 枠連(5-7)1,480円
馬連 ⑦-⑩1,780円 馬単 ⑩-⑦2,470円 ワイド ⑦-⑩710円 ⑧-⑩1,660円 ⑦-⑧4,260円
3連複 ⑦-⑧-⑩16,410円 3連単 ⑩-⑦-⑧49,110円

ハロンタイム 12.9-11.5-11.6-11.6-12.2-12.2-12.5-13.8-13.3-12.4-12.5-12.3-11.7-11.6-11.0-11.9
通過タイム 600m ⑩36.0-800m ⑩47.6-1000m ⑩59.8-1200m ⑩1:12.0-1400m ⑩1:24.5-1600m ⑩1:38.3-1800m ⑩1:51.6-2000m ⑩2:04.0-2200m ⑩2:16.5-2400m ⑩2:28.8-2600m ⑩2:40.5-2800m ⑩2:52.1-3000m ⑩3:03.1

優勝馬 **フィエールマン**
2015.1.20生 父ディーフィンバクト 母リュウドール 母の父Green Tune
安平・ノーザンファーム生産 馬主:(有)サンデーレーシング

▶ ディーフィンバクト産駒で初めて天皇賞(春)を制したフィエールマン。

